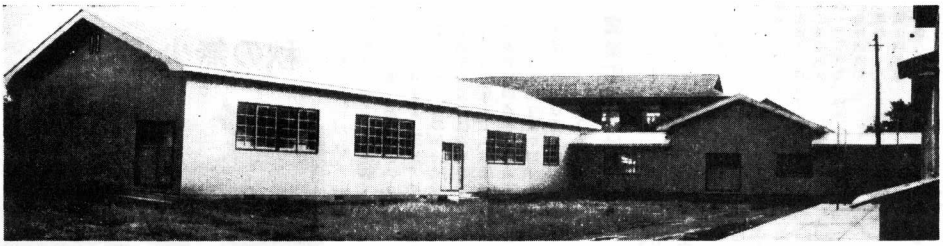
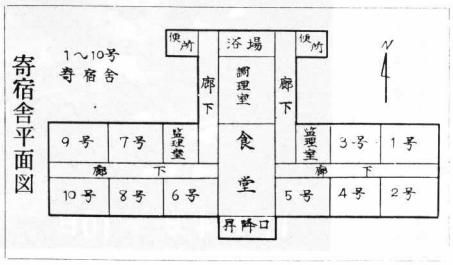
広報 たかのす
発行所 鷹巣町役場町長室
電話(代)550番　直通42番
(発行部数 6,100部)
印刷所 秋北新聞社



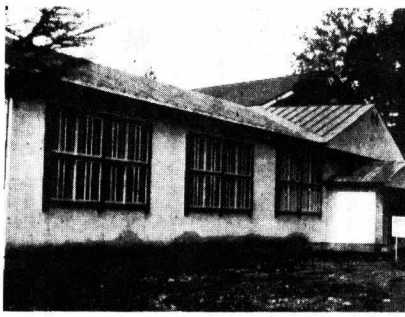
南中統合後の整備なる
特別教室・寄宿舎等が完成

四十一年度の新学期から竜森中学校が鷹巣南中学校に統合になり、四十二年度から実質統合するので、校舎の増築、施設設備の充実、寄宿舎の新設が新年度予算で決定されましたが、このほど完成しました。そのあらましは次のとおりです。



校舎増築
▽木造平屋建三百四十一平方㍍▽特別教室三（理科室二、音楽室一）昇降口、廊下▽総工費四百九十八万円（うち国庫補助金二百三十二万七千円）▽入札月日・昭和四十一年六月十六日▽工事請負者、中嶋定吉（鷹巣町）▽設計、小畑設計事務所（秋田市）▽附帯工事＝便所、教材室その他校舎補修、備品＝理科室用など約二百六十万円。

寄宿舎
▽木造平屋建四百五十平方㍍▽寄宿室、十室（一室四人、二段ベッド）▽監理室二、昇降口、食堂、調理室、浴場、廊下、便所▽総工費七百二十五万円（うち国庫補助金三百三十二万六六百円）▽入札月日・昭和四十一年六月十六日▽工事施工者、石川建設株式会社（社長石川徳治＝鷹巣町）▽設計、小畑設計事務所▽附帯工事＝井戸、乾燥場、消火栓その他備品約五十万円



写真＝完成した鷹巣南中学校の特別教室㊤と寄宿舎㊦

食糧消費 総合調査の実施
町では四十四世帯に

農林省では、十一月四日から五日間、全国いっせいに消費者の皆さんの食生活を調査します。この調査は国際的なものであり、また、わが国では初めて実施される調査で、単身者の世帯から夫婦世帯、こどものいる世帯、老人世帯、若い人が多い寄宿舎の世帯にいたるまで、あらゆる世帯をえらび、各家庭の食事のとり方や、食品の買い方を調べ、日本人の食生活が将来どのようになるかその方向を明らかにするため行なうものです。

この調査から作られる統計は、食生活改善の資料に役立てたり、どのような食品を生産すべきかなど、消費者家計の安定を考える資料を作成するのが、その狙いとなっています。

調査は全国二千五百万世帯の中から、数理統計理論にもとづいて厳正に抽出された十万世帯（鷹巣町では鷹巣地区から四十四世帯）について調査が行なわれるわけです。

なお、この調査は、統計法という法律にもとづいて国の指定統計として行なわれ、その結果は統計以外の目的に使用することはありませんし、個人の秘密は固く守られますから、この調査の実施世帯として選ばれた方は、ありのままご記入くださるようお願いします。

心臓病など にも障害年金
＝国民年金の改善＝

今回の国民年金の大幅な改正により、各種年金額の引き上げ、福祉年金の所得制限の緩和などが行なわれましたが、改正点の一つ障害の範囲の拡大について説明しましょう。

国民年金制度では、身体障害のある人々に対する年金として、障害年金、障害補償年金があります。

障害年金は、国民年金に加入している人が病気やケガのためはじめて医者にかかったときから三年を経過した日（三年以内になおったときはその時）の身体の状態が一定の障害の状態になったとき、障害年金は、国民年金制度のはじまる前にすでに一定の障害の状態にあった人に支給されるものです。

障害年金、障害補償年金障害の種類のすべての種類の障害に対して支給されてきたかというと、そうではなく、制度発足当時は手足の不自由な人や、目がみえないとかの外部障害に限られていましたが、だんだんと障害の範囲が拡げられ、昭和三十九年八月からは結核性疾患による障害、呼吸器の機能障害、精神障害などの内部障害がとり入れられました。そして、昭和四十年八月からは精神薄弱がとり入れられ、今回の改正により、昭和四十一年十二月からすべての障害がとり入れられました。

新しくとり入れられた障害としては、心臓病、腎臓病、貧血症、糖尿病などがありますが、今までとり入れられていた障害以外のすべての障害ということですから種類としては非常に数多くあるわけです。したがってこれらの病気で寝たきりの人とか、家庭の起居動作はだいたいできるのが、外へ出られないような人がありましたら、役場の年金係に申し出て、もらえるかどうかをよく相談したうえで手続きしてください。

スノーローダー（除雪車）を購入

町では、降雪期をむかえ町道の除雪を行なうため、スノーローダー（除雪車）を三百五十八万円（三分の二国庫補助）で購入した。このスノーローダーは除雪以外には、土木用としても使用でき、年中フルに活用できるものです。除雪のときは1型ブラウをつけ路面上の左側へ積雪を押しのけ、拡幅作業をする。型式その他はSTDフロントエンド兼サイドダンプバケット型、ディーゼル式。最大荷重（バケット容量一・三立方米）全鋼製密閉形式となっており、除雪は積雪三〇㌢まで除雪できる。

【写真＝スノーローダー】

町辞令

＜10月20日付け＞
町民課町民係
主　事　河田忠一

町民課町民係を命ずる
主事補　成田道子

出納員を解く
＜10月22日付け＞
町民課町民係
主　事　畠山文雄

出納員を命ずる
主事補　大川健一郎

消防辞令

消防司令に任命する
消防士長　武田富二雄
消防司令補に任命する
消防士　河田　茂造
消防士長に任命する
10月21日付け
鷹巣町消防本部

町社会福祉協議会へご寄付

このほど小森・中林藤吉郎さんから、亡父藤蔵さんの香典返しとして五、〇〇〇円を社会福祉協議会へ寄せられました。ご厚志を深く感謝します。

鷹巣町消防本部動務を命ずる
総務課庶務係

役場の執務時間が十一月から変ります

ことしも条例にもとづいて11月1日から明年3月31日まで次のように執務時間が変ります。

○平日は午前8時30分から午後4時30分まで
○土曜日は午後0時30分まで

十一月のこよみ

月間
□国民年金普及推進月間
□町税完納強調月間
1日　狩猟解禁、灯台記念日　教育文化週間
3日　文化の日
4日　秋季無火災県民運動週間
8日　立秋
10日　年賀はがき発売納税者の声をきく旬間
11日　世界平和記念日
15日　赤十字デー、七・五・三祭
20日　家庭の日
21日　寄生虫予防運動（30日まで）
23日　勤労感謝の日

登記申請する方へ

昭和四十一年十月一日以降、不動産（土地、建物等）に関する登記（相続・保存、売買、贈与等）を申請される方は、登記をする際、町長の発行する「評価格通知書」の交付を受けて管轄登記所に登記の申請書とともに提出することになりました。

▽窓口　税務課賦課第一係

所得は青色申告で

青色申告制度は昭和二十五年に設けられ、すでに十七年の歩みを続けてまいりました。現在全国で青色申告者は、百万四千人、その普及割合は六七％となっております。反面大館税務署内の普及率はまだまだ低調であり、現在やっと五〇％に過ぎず東北五十五税務署でも下位の状況にあります。その原因はいろいろあると思いますが、青色申告制度の趣旨や内容をよくご存じないために、いまだ青色申告をしていない人が相当数おられると思います。しかし、きわめて近い将来には申告納税制度本来の姿である自主計算にもとづき、申告すべき所得税額の承認申請書（税務署に添えつけてあります）を提出していただき、この方々には昭和四十二年一月一日より記帳できるように年内に記帳説明会を開く予定ですので、急いで青色申告承認申請を提出してください。

大館税務署

青色申告者のために、こ

昭和四十二年より青色申告をなさる方々については税務署ではできるだけ年内に所得税の青色申告承認申請書（税務署に添えつけてあります）を提出していただき、この方々には昭和四十二年一月一日より記帳できるように年内に記帳説明会を開く予定ですので、急いで青色申告承認申請を提出してください。

大館税務署

んと税務署の中に青色申告指導係が設けられ、青色申告の手続き、日日の記帳から決算までご相談に応じることになりました。また管内税理士会、商工会、青色申告会において税務署と同じような相談所を設け税務指導を行なっておりますので、ご遠慮なくご利用していただきたいと思います。

秋の無火災 県民運動

11月4日～10日

昔のことばに「地震、かみなり、火事、泥棒」ということわざがあります。現代では、交通事故に次くものが火災で、秋の交通安全運動に引続き十一月四日から十日まで『秋季無火災県民運動強調週間』が始まります。火災は大切な家や財産を灰にするばかりでなく尊い人命まで奪い、ことしに入ってから本町でも二人の犠牲者を出しており、火災による死傷者は全国的に年々増加しています。これから寒さをむかえ火を使う機会が多くなります。みんなで火の元に注意しましょう

【カット写真＝昼夜を問わず毎日監視にあたる消防署員。消防署望ろうで】

鷹巣町におけることしの火災状況

（一月一日から十月二十日まで）

○原内別
▽タバコ二件▽風呂一件▽ストーブ一件▽電気・保温器一件▽ボイラー一件▽不審火一件▽子どもの弄火二件▽取灰一件▽蚊取線香一件▽煙突三件計十四件

○物件損害額
総額　三、八七四万円

○焼出別件数
▽全焼八件▽半焼一件▽ボヤ五件

○被災家屋ねね数
部分焼　七むね
半　焼　一むね
全　焼　十九むね
計二十七むね
（住家　非住家とも）

○焼出面積
二、五三二・九一平方㍍

○死傷者
二人

○月別発生件数
▽一月二件▽二月四件▽三月四件▽四月一件▽六月一件▽九月一件▽十月一件

○出火時間別発生件数
▽午前零時～午前六時＝五件▽午前六時一分～正午＝二件▽午後零時一分～午後六時＝三件▽午後六時一分～午後十一時五十九分＝四件

○曜日別発生件数
▽月曜四件▽火曜一件▽水曜一件▽木曜三件▽金曜二件▽土曜三件

○地区別発生件数
▽鷹巣三件▽栄一件▽譲子三件▽切沢〇件▽七座三件▽沢口二件▽七日市二件

広報フラッシュ

○十月十一日から十月二十日まで、秋の交通安全運動が全国的に行なわれました。期間中の十月十五日交通安全総参加の日には、町内の子ども会が交通事故皆無の非願をこめて町内を一巡した。【写真上】

○鷹巣電報電話局では、毎年行なわれている電信電話記念日（十月二十三日）の行事の一つとして、学校教材用電話機と参考図書を贈っていますが、ことしは鷹巣農林高校、鷹巣中学校、鷹巣南中学校に贈り、正しい電話の使い方に資することになった。【写真下、贈呈式＝南中にて】

県民運動の重点事項

―どんなことに注意すればよいか―

子どもの火あそび

毎年弄火による火災は最も多く占め、特に九月から十一月までの農繁期に多発しています。火を燃すのは子ども心には面白いものです。人にかくれてやるときもかなりあります。しかしその恐しさを知りません。

子どもに対する注意を怠ないよう保護者は、じゅうぶん注意し、弄火について家族で話合い、子どもに火事の恐しさをきかせるとともに家庭防火管理の徹底につとめましょう。

焼死者の事項防止

ことしに入ってから火災によって亡くなった人は、わが町で二人もいます。ふだんから万一のときの避難方法などを考え、とくに老人、子ども、病人には気をつけ、安全な場所へ避難させる方法や手順を考えておきましょう。

老人、子ども、病人などはなるべく一階に寝かせるようにする。避難口は少なくとも二カ所は設け、階段は階下から煙が上ってくる道になることを忘れないでください。

冬囲いをする場合は避難ができるよう開口部を設けることが大切です。

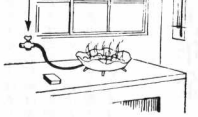
大火防止

これから火の取扱いが多くなるに伴ない、火災発生も多くなりがちです。出火すると気象的要因もあって延焼拡大する危険性があります。火事のときは、すぐ大きな声で隣り近所に知らせ協力を求める。他人の協力なしでは普通火事は消せません。通報する者と、消火にあたる者とわけて行動することが肝心です。火事の通報は、電話で一一九番、または"火事"（七日市七座局では"火事"と）で火事の場所、目標、状況をはっきりつげてください。

予防査察の徹底

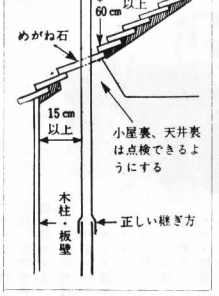
たのしい家庭を火災からまもるために、火を使う場所や器具を注意して調べてみましょう。ちょっとした破損や故障でもそのまま放置した状態で使わないで、すぐ修理し、清潔に使いましょう。安全な扱いをするように家族みんなでつとめましょう。

◎石油こんろ・ストーブ、ブロパンガス



▽器具の取扱いを家族みんながよく知っておくこと
▽説明書にしたがって正しく使う
▽燃料タンクに注ぐときは必ず火を消してから
▽給油ポンプや安全な給油かんを使う
▽まわりにこぼれた油はすぐふきとる
▽火を必ず消してから移動する
▽ガスボンベは戸外におき火を使う以外は元センを閉めておきましょう
▽ガス配管のガスもれがないか調べ、不安全なものは販売店をとおして修理しましょう
▽まわりの燃えやすいものを整理する

◎電気器具
電熱器具は使用後、かならずスイッチを切ってコンセントからはずしておく。一つのソケットにいくつもの電気器具を同時につながない（いわゆるタコ足配線をしない）ヒューズは正規のものを使う
引込線や雨樋やトタン屋根に接触しているものや風などで接触しやすいものは修理する



◎煙突
煙突が屋根や壁などを貫通しているところにはめがね石を使う
煙突は壁からできるだけ離れた安全なところにおく
火の粉がとばないよう定期的に掃除をすること
が入ったりしたまま使わないこと
たきロのまわりには、燃えやすいものを置かない
煙突が破損したり、ひび

消防長に就任して

消防長　成田仁市

昭和二十九年十一月町長に選任され、通算十二年間の長い間町長さん初め町議会議員のかたがた町職員のご指導とご協力により、どうにか勤めさせていただき、ましたことを深く感謝申しあげます。

九月二十一日助役の任期満了とともに消防兼消防署長を拝命致しました。

もとより消防行政につきましてはまったくの素人でございますのでよろしくご支援下さるようお願い致します。

前消防長の成田総一郎氏は長い消防団長の経験もあり、消防長として卓越した指導者の後を引受けて、はたして町民皆様の安心して委せられる消防の責任者としては非常に懸念するものでありますが、優秀な消防署職員の協力と消防団幹部初め団員皆さんのご指導により消防の任務である町民の生命、財産の保護のため努力致して参りたい覚悟でございます。

内職の功労者として

千葉チエさん知事表彰

県内職公共職業補導所で、補導所開設五周年を記念して十一月一日秋田市・行なっている七日市字横淵で、ビース刺しゅう内職を表彰することになった。

秋田県内職大会を開き、県内の内職に功労した方を表彰するが、そのひとりとして、千葉チエ（四五）さんを知事表彰することになった。

停電のお知らせ

東北電力鷹巣電業所では次の日を作業に停電を行ないます。

◎十一月九日（水）午前八時三十分から午後三時三十分まで

◎停電区域　鷹巣町全町

かならず火の始末をもう一度確かめる

火を使っている所のまわりは清潔にしておくたき火をする場合は風の強いときをさけ、消火用の水を準備して安全な場所ですること

消防署へ通報を

官公署、事業所へおねがい

公共建物を火災から守るため、各官公署、事業所、学校において夜間当直者から就寝前、火災の状況を消防署へ通報していただくことになっています。必ず報告してください。

田沢部落に小型ポンプ

町では、十月八日栄地区田沢部落に小型動力消防ポンプ一台（トーハツ一四・七キロワット）を三十六万円で贈入し配置した。

田沢部落は摩当から四㌔ほど離れており、万一に備え配置を望んでいたものです。また消防団では七日市地区明利又、三ノ渡部落の二カ所に消防望ろうを建てました。

◎出来秋に納税貯蓄組合預金を積立てましょう。

◎未納税金は収穫期を期して完納しましょう。

◎十一月は町税完納期間です。

与助岱に納税組合

このほど七日市、与助岱納税貯蓄組合（組合長畠山博行氏十五世帯）を結成しました。

北日本中小企業振興展で

辻産業へ長官賞

北海道、東北を含めた北日本中小企業振興展が、十月二十日から十月二十四日まで青森県八戸市で開催されました。

この振興展は繊維、機械金属、化学窯業、木製品、漆器、日用雑貨、食料品など三、五七点の一般出品と各県の工業試験場から七一九点が賛助出品されて行なわれ、北日本の中小企業を発展させるために毎年開催されているものです。

本町から鷹巣駅前の辻産業合資会社から出品された辻式電磁木工自動組立機が中小企業庁長官賞を受けました。

◎停電区域　鷹巣町全町

◎作業時間　変電所の定期診断、送電線の電柱建替えその他